

神奈川県和学校防災教育研究集会報告

神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域で防災に取り組む方々を発掘しネットワーク化することを目的とした文部科学省の助成事業による研究活動の一環で、今回は神奈川県下で学校防災に熱心に取り組んでいる方々の活動報告や大学・研究機関の研究者などによる学校防災教育支援活動の現状と課題の発表とパネルディスカッションを聴講してまいりましたので報告いたします。

日 時 2015年1月31日(土)13:30~16:30

会 場 鎌倉商工会議所ホール

参加者 日本防災士会横浜支部:3名(長沼重雄、乾英昭、玉江牧雄)

主催者 「神奈川県下に係る防災研究データベースの活用を起爆剤として官学民連携による地域防災活動活性化研究」文部科学省地域防災支援プロジェクト

(株) 防災・情報研究所 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町 4-10-2F

Tel. 03-3249-4120 Fax. 03-3249-7296

1. 活動報告

- ・横浜市立太尾小学校長: 鷺尾竜太郎氏「地域・学校・家庭の連携による防災教育の推進」
- ・平塚市中原中学校教諭: 佐藤明子氏「教科教育と防災教育をつなげる実践例」
- ・鎌倉市立第一中学校校長: 西岡正江氏「津波危険地域との協働による防災教育」
- ・神奈川県立西湘高校教諭: 釣田あかり氏、高校生「SSH 西湘高校の防災教育」
- ・神奈川県立高津養護学校総括教諭: 兼子英彦氏「地域と協働した防災活動」
- ・公文国際学園教諭: 川上誠氏「私立学校における防災教育」
- ・防災情報研究所: 高梨成子氏「神奈川県下の学校防災の動向」

2. パネルディスカッション

地域の人的資源をいかに防災教育に活かすか？

パネリスト

時事通信社解説委員: 中川和之氏、慶応大学教授: 吉川肇子氏、神奈川県立生命の星・地球博物館館長: 平田大二氏

横浜市立太尾小学校長: 鷺尾竜太郎氏、平塚市中原中学校教諭: 佐藤明子氏、鎌倉市立第一中学校校長: 西岡正江氏

公文国際学園教諭: 川上誠氏



3. 感想

神奈川県内で大地震が発生する確率は30年以内に70%超との報道がされている中、減災に取り組む啓蒙活動が重要になってきます。活動報告で一昨年、学校防災の支援事業でお世話になった高津養護学校の兼子総括教諭の報告もありました。

地域の人的資源をいかに防災教育に活かすかというテーマは、日本防災士横浜支部の人的資源を地域の防災教育にどう活かすかといった課題と重なる内容だったと思いました。パネルディスカッションを聞いていて昨年実施したDIG講習会は地域の防災教育にはとても有効な手段だと思いました。(玉江)